

れんごう中越地協

第1150号2023.7.1
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費を含む



第48回ゆとり釣魚大会

柿崎の海岸でキス釣り大会

第48回勤労者ゆとり釣魚大会(キス釣り)が、6月17日(土)午前5時に上越市柿崎中央海水浴場近くで行われ、21人の太公望が参加した。この日は快晴で波も穏やか、絶好の釣り日和と思われた。夜が明けはじけると砂浜にはたくさん釣った人の姿が見えてきた。午前4時半頃、5時に開会。野田副議長が挨拶。



そしてルールを説明。10時計量に向け、各自が釣れそうな場所に陣取ってスタート。開始から一時間程して状況を確認。絶好の釣り日和と思われたが、前日夜まで降り続いた雨の影響か、多くの参加者が釣果なしの状況だった。計量の10時をむかえ、各自が釣果を携えて集まってきた。参加者によると、9時前頃からようやく釣れはじめたが、その頃にはエサ



も無くなってきた。例年、計量の袋いっぱいに入れた。今年もかなり厳しい状況。キス以外に、カサゴ、アйнаメそしてタコを釣った人もいた。表彰は、21位から順に発表。賞品はすべて泡のでももの。上位の成績者は以下のとおり。

★優勝 野村 修さん 500g

★2位 新橋 大貴さん 220g

★3位 須藤 勇樹さん 150g

(北越メタル労組) 大物賞 須藤 勇樹さん 高頭 直也さん 45g

雑魚大物 西川匠さん 230g

ブルービー賞も用意していたが、釣果な



このほか女性賞等が贈られた。最後に優勝者を囲んで記念撮影。来年への参加が呼びかけられた。今年の釣魚大会は、参加者全員の総重量は、2010g(昨年10940g)。例年になく、寂しい釣果となったが、来年は今年も取り戻す大会となることを期待したい。

農業・食料・環境問題を学ぶ 第2回イベントを開催

連合中越地協の「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業、ユニバーサル農園「Oasis R」(NPO法人UNE×フードバンク)がおか×連合中越)の今年2回目のイベントが6月10日(土)9時から行われた。当日は天候にも恵まれ、連合中越地協

のほか、フードバンクがおか、福祉施設利用者等50人を超える参加があった。開会式では家老UNE代表、矢島連合中越地協議長の挨拶、畑に向かった。畑到着後、各団体に作業を行い、連合ではサツマイモの植え付け作業を行った。年度当初の



農業・食料・環境問題を学ぶ ジャガイモの収穫イベント
日時 7月22日(土)8:45~受付
場所 信濃川河川敷内OasisR
集合 千秋ふるさとの森管理棟前
問合せ 連合中越地協事務局 ☎0258-86-0111

計画では玉ねぎの収穫を予定していたが、生育が間に合わず収穫はできなかつた。作業後は野菜を収穫して、ジャガイモの収穫を予定している。

能力、性格といった様々な形質は、親から受け継いだ「遺伝要因」と、生活や教育といった「環境要因」の両方の影響で決まるそうです。それぞれの要素がどの程度の割合かという調査したという記事がありました。▼「音楽の才能は92%、スポーツの才能は85%、成人初期の知能指数(IQ)も66%が遺伝の影響と言えます」▼音楽、スポーツあたりは、納得することが多く、バツハの一族は多数の音楽家を輩出していますし、陸上ハンマー投げの室伏広治さん一家、宮里藍さんらゴルフの宮里ファミリアなど分かりやすい事例かと思えます▼能力や性格に遺伝が影響しているなら、それらが発揮された結果とも言える収入には、どの程度遺伝の影響が表れるのだろうかということ、その影響が、年齢でどう変化するかを調査しています

あ た ご
No.87

副議長 永井 研

▼それによると、遺伝の影響は20歳で22.7%。その後、30歳で38.2%、40歳で56.5%と右肩上がり、ピークを迎える43歳で58.7%まで高まります。その後影響は落ち始め、50歳では52.3%の結果でした。▼若い時期には遺伝的個人差は限定的にしか収入に反映されないが、30代、40代とキャリアが長くなるにつれて本来の実力が問われ、遺伝の影響が増していき、それに応じた収入のばらつきも大きくなるのではないかとのことです。とはいって40歳、50歳になって遺伝を恨んでも仕方のないことだと思えますが、▼因みに今をときめく広末涼子さん的一件は30%ということ、環境によるものが大きいようです。やはり相手があつて成り立つものですか(笑)

サラリーマン川柳(「大丈夫?」最後はSiriに励まされ)(削減だ改革起こすと仕事増え)(みつをから修造になる 父語録)(当たったらあれ買うじゃなく どれ返す)

